

川上村

川上村が目指す子育て環境

R元. 8. 26 第2回奈良県・市町村長サミット資料

川上村は、子どもを出産する大半を占める20歳～39歳の女性人口の推移予測において非常に高い減少率が示されました。その一方で、近年は村外からの若い世代の移住者が増えています。村民・地域ぐるみで村の子どもを共に育むむらづくりを進め、「川上村で暮らしたい、川上村で子どもを生み育てたい」と思っただけのような魅力ある子育て環境づくりを実現します。

1 基本データ <県記載>

・順位は県内市町村の降順
・カッコ書きは県全体の数値

①人口増減率（H11年4月～H30年12月・約20年間）					
増減率	順位	うち自然増減		うち社会増減	
		増減率	順位	増減率	順位
▲51.0% (▲6.2%)	39位	▲22.2% (▲2.1%)	37位	▲28.7% (▲4.1%)	38位
②合計特殊出生率			③有配偶出生率		
H20～24年（年率）	順位	対H15～19年（年率）増減	（15～49歳女性有配偶者1,000人あたりの出生数）		
			H27年	順位	
1.29 (1.29)	15位	+0.02 (+0.06)	0.0 (74.4)	37位	
④出生数（人）	⑤年少人口割合（15歳未満）				
H30年	H30年10月	順位	対25年10月増減		
5 (8,947)	6.1% (12.0%)	34位	+2.4㊦ㄗㄗ (▲0.7㊦ㄗㄗ)		
⑥子育て世代割合（25～44歳）					
H30年10月	順位	対25年10月増減			
9.3% (20.7%)	37位	▲2.0㊦ㄗㄗ (▲3.8㊦ㄗㄗ)			

2 子育て家庭の現状と支援に関する課題

- ① 子育てにやさしい村づくりに取り組んでいるが、保育士不足が課題。
- ② 子育て家庭への経済的援助や産前から育児まで切れ目のない支援を提供しているが、支援内容の充実や質を向上していくことが課題。
- ③ 学童保育や園庭解放を行っているが、村の面積が広く離れた集落間でどのように交流の場を作っていくかが課題。

3 子育て家庭への支援に関する基本的な考え方（目指していること）

地域で育む子どもの輝きを基本理念に「安心して生み育てることができる村」「心身ともに健やかな子どもの成長を支える村」「すべての子どもが尊重され安全で住み良い村」を基本目標とし、妊娠から出産、育児への切れ目のない支援、心身の健康と教育・保育環境の確保、すべての子どもへの見守りと個々の実情に応じた支援を目指します。

4 子育て家庭への支援に関する特徴的な取組

- ① 医療費助成や妊婦健診健康診査受診料、予防接種費助成等、経済的支援の充実
- ② 未就学児童を対象に地域子育て支援拠点事業として「のびっこ広場」を開設し、子育て家庭の交流の推進や相談・情報提供を実施。
- ③ 子育て家庭が安心して生み育てることができるよう、妊娠期から出産期、育児期まで保健師が情報を収集し実情の把握に努め、必要に応じて個別に支援プランの策定を実施。

5 多様な主体による子育て支援の取組

- ① 児童虐待未然防止を目指し、住民と医療機関、教育機関が情報共有しながら連携を図ることができるよう各機関との連絡調整により支援。
- ② 地域住民との交流ができるよう高齢者と園児のふれあい事業を実施。
- ③ 移住者も含め子育て世帯の交流を目的に活動している「ちびっこ増やし隊」が交流の機会を増やせるよう支援。

詳しくは 川上村ホームページ
<http://www.vill.kawakami.nara.jp/>